

カーポート取替工事

before



after



踏み台取付工事



before



コンクリートか木製かで悩まれてましたが、雰囲気のある木製で踏み台を取付ました！



after

1台分の駐車スペースを2台分に広げて、カーポートを設置しました。スッキリとした空間に！

今月の一枚

エクステリア特集

ひまわり

Vol.147

編集 中村建設(株)
四日市市小宮 1-1-7
隔月発行

社長のひとり言

これからの住宅事情

令和四年八月八日記

世の中の動きを見ていると、少子高齢化は大変な勢いで進んでおります。

(次頁へつづく)

木製フェンス工事

温かみのあるフェンスに仕上げて！



資本主義のグローバル化に伴い、貧富差が増え広がると共に結婚しない若者が増えています。

同時にお年寄りが増加し続ける。

このような社会情勢の中で我々

住宅づくりをしている者にとって

どの様な方向を見つめて経営

をすることが大切かと考える時

人は決して一人では生きられない

事を前提条件として、お互いが

助け合って生活して行く以外に

この問題を解決していく方法は

ないと思われれます。

そうした時、昔の生活スタイルを思い出してみると、それは長屋式

なのです。それを現代に合った

型として造り上げて行く事が

大切と考えます。それは老若

男女が集うシェアハウスなる物

と造り提案して行く事かと……

そこには長屋と独立した家をも

含め、住民が集まる場所(コミュニ

ティー広場)農園の併設などを

して自然で自由な人々が集う

集落をつくる事が大切なことか

と思えます。

人々が適度に係わり、各々が得

意とする事を發揮し、住む人が

幸せに生活出来る場を提供出来

ればと思っております。

都市近郊の空屋、空地の利用

里山保存などと人と国土を活性化

することが出来れば、そこに

育つ子供達も人間性豊かな

子供になり世の中が良くなる

のではないのでしょうか(?)そして

社会貢献することが、私達

住まいづくりの使命ではないか

と思っております。

幸福をまむ住まいの詩

よい環境

よい精神

明るく住まいに

素直な子

会話が弾めば

嘘はない

住まいの仕組みで

よい家庭

住まいしだいで人格も

左右されるは故事ごおり

自然に順応 幸を呼ぶ

雑談コーナー

衣替え 1・2回シリーズパート1

◇衣替えのポイント①チーム分け

いま着たい服が見つけやすいように
シーズンでチーム分けをします。

① 真冬の厚手服

② 真夏の着る服

③ 秋冬の薄手服

④ 春夏の薄手服

⑤ ⑥は素材や色味を
分ける目安に
無理に分けず、通年チーム
として1チームとしても
OKです。

◇衣替えのポイント② 潔く断捨離

住む家や部屋のスペースでしまえる服の量は限られます。
服の絶対量を決め、衣替えのタイミングで処分しましょう。

① 捨てドキの目安

- ・今シーズンとうとう着なかった
- ・サイズが合わない
- ・過去3年ほど着た覚えがない
- ・すでに流行遅れになっている
- ・ヨレマ型くずれている
- ・着たいと思わない
- ・日焼け、穴空き等劣化が明らか

←

これらの洋服でダメージのないものは、
リサイクルショップや買取専門店を利用しても良いですね。
次号「パート2」では、収納について掲載予定です。



